

みずほCustomer Desk Report 2025/01/30号(As of 2025/01/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	155.68 AUD/USD
TKY 9:00AM	155.54	1.0427	162.34	1.2441	0.6253
SYD-NY High	155.79	1.0443	162.43	1.2463	0.6255
SYD-NY Low	154.94	1.0383	161.32	1.2394	0.6211
NY 5:00 PM	155.24	1.0422	161.72	1.2446	0.6230
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,713.52	▲ 136.83	日本2年債	0.6900%	0.0100%
NASDAQ	19,632.32	▲ 101.27	日本10年債	1.1900%	0.0000%
S&P	6,039.31	▲ 28.39	米国2年債	4.2186%	0.0236%
日経平均	39,414.78	397.91	米国5年債	4.3369%	0.0070%
TOPIX	2,775.59	18.69	米国10年債	4.5334%	0.0000%
シカゴ日経先物	39,315.00	▲ 155.00	独10年債	2.5710%	0.0105%
ロンドンFT	8,557.81	23.94	英10年債	4.6070%	▲0.0045%
DAX	21,637.53	206.95	豪10年債	4.3640%	▲0.0680%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.40%	▲0.13%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.57%	▲0.05%
NY金	2,769.80	2.30	USDJPY 6M Vol	9.59%	0.02%
WTI	72.62	▲ 1.15	USDJPY 1M 25RR	▲1.19%	Yen Call Over
CRB指数	307.59	1.36	EURJPY 3M Vol	9.72%	▲0.03%
ドルインデックス	108.00	0.13	EURJPY 6M Vol	9.78%	0.03%

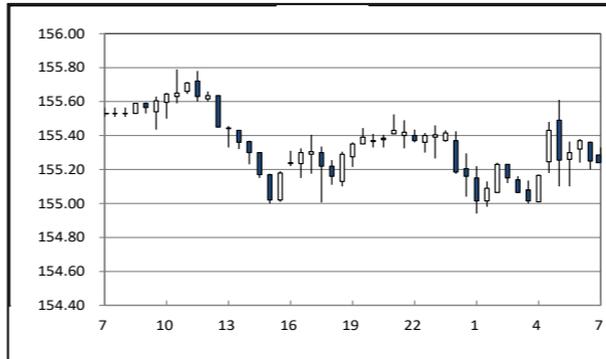
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event	結果	予想
1月29日	09:30	豪	CPI/トリム平均CPI(前年比)	12月 2.5%/2.7%	2.5%/—
	09:30	豪	CPI(前期比/前年比)	4Q 0.2%/2.4%	0.3%/2.5%
	09:30	豪	トリム平均CPI(前期比/前年比)	4Q 0.5%/3.2%	0.6%/3.3%
1月30日	22:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	12月 -0.5%	0.2%
	04:00	米	FOMC政策金利(上限/下限)	29-Jan 4.50%/4.25%	4.50%/4.25%
	04:30	米	パウエルFRB議長 講演		「利下げ急ぐ必要ない」

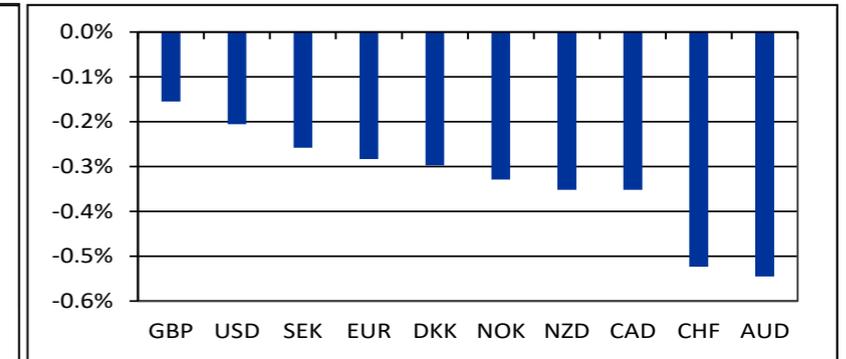
【本日の予定】

Date	Time	独	欧	米	Event	予想	前回	
1月30日	18:00	独			GDP(前期比)・速報	4Q -0.1%	0.1%	
	19:00	欧			GDP(前年比/前期比)	4Q A 1.0%/0.1%	0.9%/0.4%	
	19:00	欧			消費者信頼感・確報	1月 -	-14.2	
	19:00	欧			鉱工業信頼感指数	1月 -13.8	-14.1	
	19:00	欧			サービス業信頼感指数	1月 6.1	5.9	
	19:00	欧			失業率	12月 6.3%	6.3%	
	22:15	欧			ECB預金ファシリティ・レート	30-Jan 2.75%	3.00%	
	22:15	欧			ECB主要政策金利	30-Jan 2.90%	3.15%	
	22:30	米			GDP(年率/前期比)	4Q A 2.6%	3.1%	
	22:30	米			個人消費	4Q A 3.2%	3.7%	
	22:30	米			新規失業保険申請件数	25-Jan 225k	223k	
	22:45	欧			ラガルドECB総裁 会見		-	
	1月31日	00:00	米			中古住宅販売仮契約(前月比)	12月 0.0%	2.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.50-156.40	1.0350-1.0500	161.50-163.50

【マーケット・インプレッション】

FOMCでは声明文にタカ派とも受け取られる修正が入ったことから当初は米金利上昇・ドル高で反応したものの、議長記者会見では「文言はシグナルを送るためではない」と市場の反応を否定。加えて、今後の利下げのタイミングについてはデータ次第とし、ノーヒントを貫いたことから、金利・為替ともに往って来いの展開となった。

終わってみればFOMCは事前コンセンサスから外れない結果となり消化。目先のドル/円相場のドライバーは関税を筆頭としたトランプ政策。また、経済指標面では30日に米GDP、2月7日の雇用統計、12日のCPIと続く。本日は155円半ばを挟んでのレンジ推移を想定。

東京	東京時間のドル円は朝方12月BOJの議事録が発表され、想定よりもやや効派だったことを受けて小幅に円高に振れて155.54レベルでオープン。FOMCを今夜に控え、午後にややドル売りが出て155.00まで下落。結局155.18レベルでロンドンに渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.52レベルでオープン。午後にFOMCを控え、方向感なく推移し、結局155.36レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。注目のFOMCを控える中、ポジション調整と思われる売りが先行し、155.00まで下落。その後は米金利の上昇を受けて反発し、155.36レベルでNYオープン。午前中は米株の軟調な展開を背景とした円買いが優勢となり、154.94まで下落。その後は下げ渋り、FOMCの結果発表を待つ。午後はFRBが政策金利を4.25%-4.50%に据え置き事を決定し、同時に発表された声明文では「インフレが当局の目標に向けて進展している」との文言が削除され、予想より効派な内容となった。発表後は155.50付近まで買われる場面もあったが、その後にパウエル議長が記者会見で、先述のインフレ抑制進展に関する文言が削除された事はシグナル発信を意図したものではない」と説明すると伸び悩み、155.10付近まで売り戻され、その後155.24レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。独金利の低下が重しとなり、1.0394までじり安で推移。その後は下げ渋り、1.0405レベルでNYオープン。午前中は低下していた独金利が反転上昇する展開を受け反発し、1.0429まで戻す。午後は先述のFOMCの結果を受け、1.0389まで瞬時に下落する場面もあったが、その後は再度反発し、1.0422レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。